



八世川柳120年記念

八世川柳地蔵移転事業

へのご協力をお願い

謹啓 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は、川柳の諸事業にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、私ども八世川柳120年実行委員会および文京川柳会では、八世川柳没後120年の節目である本年、下記のごとき記念行事を企画、実行の途に就いております。
 没後120年という機会に、川柳を社会へ広める諸事業を行い、川柳の地位向上と言語文化の振興に寄与すべく、地域ぐるみの活動を行ってまいります。
 つきましては、私どもの熱意をご承引いただき、ともに川柳を広めるためのご協力をお願い申し上げます。ご協力をお願ひ申し上げる次第でございます。何分とも寛大なるご理解を賜りまして、ご支援方ご承諾いただけますれば、一同、これに過ぎた幸せはございません。

主要事業

八世川柳地蔵（茗荷谷・林泉寺）移転事業
 歴代川柳の墓所のうち八世川柳のご児玉環（1820-1892）は、茗荷谷の林泉寺に葬られましたが、早くから児玉家が絶え、しばし無縁となっておりました。昭和3年、初代川柳墓所の都日蹟に指定された際に、合せて高木角恋坊はじめ有志によって墓所が不明であった四世川柳とともに地蔵尊が建立されました。

しかし、時間の経過とともに忘れられ、昭和59年に十五世・脇屋川柳氏によって林泉寺の調査が行われた際には、住職も知らないという状況にありました。

このたび、再調査の結果、無縁の地蔵尊群の中に、「八世川柳墓」と刻まれたお地蔵様を確認、川柳の史跡として整備すべく、境内のよい場所へ移転し解説板を立てる事業となりました。



八世川柳地蔵（中央四角い背）

八世川柳120年記念句会

9月30日 アカデミー茗荷谷において「八世川柳120年追福講演句会」の開催いたします（表面）。

基金へのご協力

本事業の準備、開催、運営には総額50万円（概算）が見込まれます。これらの経費は本来実行委員会および参加者負担において賄うのが本旨ですが、支出ばかりが多い文化事業では、参加料だけでは賄いきれない部分がございます。会費・雑収入などで見込まれる収入は10万円程度であり、残り40万円は諸団体・諸企業・個人からの援助に頼らざるを得ないのが現状です。

つきましては、この文化事業の主旨、重要性をご賢察の上、誠に恐縮ではありますが、何分のご協力を賜りたくお願ひを申し上げます。下記の次第です。

募集対象：法人、吟社、個人 協賛金額：1口 2000円

銀行口座 みずほ銀行王子支店（店番：557） 口座名：川柳250年実行委員会 口座番号：12682266

または、直接事務局、文京川柳会まで。

*3口以上ご協力の方には、『八世川柳120年』を贈呈させていただきます。

実行委員としての協力

ごなただでも、ご賛同のご協力がいただければ、実行委員としてご参画ください。

誌面でのご協力

各種のメディア番組や機関誌の記事としてお取り上げいただけると幸いです。川柳家にとって自らの文化背景を多くの方々を知っていただくことが、この事業のひとつの目的でございます。

問合せ 八世川柳120年実行委員会 実行委員会会長 脇屋 川柳 実行委員長 牛歩 事務局 尾藤 一泉

〒114 005 東京都北区栄町38-2 電話・FAX: 03-3913-0075 E-mail: jissen@oct.or-senryu.com